

愛知東邦大学 シラバス

| | | | |
|--------------------|----------|-----------------------------|----|
| 開講年度(Year) | 2024年度 | 開講期(Semester) | 後期 |
| 授業科目名(Course name) | 心理学実験 II | | |
| 担当者(Instructors) | 松尾 香弥子 | 配当年次(Dividend year) | 2 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 選択 |

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

心理学実験こそは、(科学的な)心理学を心理学たらしめている、ユニークな特徴のひとつである。心理学実験Iに続き、心理学実験IIではさらにその実際について学びを深めることを目的とする。実験の計画、実施、集計・統計、考察、レポート作成・提出、発表の全過程について行う。グループ学習を行うため、各人の協調性や責任感が要求される。各人が自分のグループのメンバーとして実験者となるだけでなく、他のグループの被験者(実験参加者)にもなる。基本的に対面で行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

| | |
|---------------------|---|
| 授業形態(Class form) | 講義 |
| 授業の方法(Class method) | 講義と演習の両形式で授業を行う。講義では各テーマの内容や演習の進め方の概要について説明する。演習では数名ずつのグループごとに実験を進め、また実験結果についてプレゼンテーションを行う。実験のデータ取得は授業時間外に行われる場合がある。パソコンを使用するので毎回必ず持参すること。また、グループワークを行うので協調性や責任感が要求され、基本的に毎回出席することが求められる。 |

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---------|-------------------------|---|--------------------------|
| 第1回 | ガイダンス | この授業の進め方について説明する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第2回 | パーソナルスペース (1) 概要解説、計画 | パーソナルスペースの実験の背景や実験方法を理解し、各グループで実施計画を立てる。 | <input type="checkbox"/> |
| 第3回 | パーソナルスペース (2) 実験 | パーソナルスペースの実験を実施する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第4回 | パーソナルスペース (3) 集計・統計・分析 | パーソナルスペースの実験の結果を集計し、統計を行い、結果について分析する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第5回 | パーソナルスペース (4) 発表、レポート作成 | パーソナルスペースの実験の結果についてグループ発表を行う。レポート作成を行う。 | <input type="checkbox"/> |
| 第6回 | ストループ効果 (1) 概要解説、計画 | ストループ効果の実験の背景や実験方法を理解し、各グループで実施計画を立てる。 | <input type="checkbox"/> |
| 第7回 | ストループ効果 (2) 課題作成 | ストループ課題の実験刺激を作成する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第8回 | ストループ効果 (3) 実験 | ストループ効果の実験を実施する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第9回 | ストループ効果 (4) 集計 | ストループ課題のデータを集計する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第10回 | ストループ効果 (5) 統計・分析 | ストループ効果の実験結果の統計を行い、結果について分析する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第11回 | ストループ効果 (6) 発表、レポート作成 | ストループ効果の実験の結果についてグループ発表を行う。レポート作成を行う。 | <input type="checkbox"/> |
| 第12回 | 質問紙調査 (1) 概要解説、計画、実験 | 質問紙調査法についての概要を理解し、テーマを決定し、ウェブ上にアンケートを作成する。データ取得を行う。 | <input type="checkbox"/> |
| 第13回 | 質問紙調査 (2) 集計 | アンケートの結果を集計する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第14回 | 質問紙調査 (3) 統計・分析 | アンケートの結果について統計を行い、結果について分析する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第15回 | 質問紙調査 (4) 発表、レポート作成 | アンケートの結果についてグループ発表を行う。レポート作成を行う。 | <input type="checkbox"/> |

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業時間内に作業が終わらない場合には、授業時間外に行う必要がある。例えばデータ取得、集計・統計、文献調査、レポート作成、プレゼン準備などである。(2時間)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

プレゼンテーションのときに講評を行う他、レポートについて全般的な講評を行う。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents) |
|--------------|-------------------|--|
| 思考力・判断力・表現力 | ◆ 2019人間健康DP2 | プレゼンテーションのときに講評を行う他、レポートについて全般的な講評を行う。 |

■成績評価 (Evaluation method)

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験 (in-class exam) | その他(Other) |
|--------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|------------|
| | | | 70% | 30% |

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

出席および授業貢献度を重視する。また、各テーマごとに提出するレポートやプレゼンテーション資料などによって総合的に評価する。

■テキスト (Textbooks)

| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|-----------|--------------------|------------|
| 1 | なし | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

■参考図書 (references books)

| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|-----------|---|------------|
| 1 | 日本心理学会認定心理士資格認定委員会 (編集) 『認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎』 金子書房 | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |